

# 2017.7.6 コミュニティラジオ天神「シゴトの幸福論」ゲスト出演

## テーマ:「女性の暮らしを考えよう」～日本ヒープ協議会の活動から～

日時: 2017年7月6日(木) 11:30～11:55

ラジオ局: コミュニティラジオ天神

周波数: 77.7MHz(福岡市内が聴取エリア)

### 代表理事の宮木由貴子がラジオ出演いたしました。

#### <トーク内容>

##### 1. 一般社団法人日本ヒープ協議会とは?

1978年に設立した企業に勤める女性で構成される団体

##### 2. 宮木代表理事のキャリアについて

代表理事業務と(株)第一生命経済研究所の研究者としての活動について  
昨年度テーマ「働く女性の三方よし」について

##### 3. 日本ヒープ協議会の今年の活動内容

今年度テーマ「三位一体で描く消費環境デザイン」について

##### 4. 今後の目標

大阪と九州で実施される内閣府・男女共同参画推進連携会議との共催イベントについて



宮木代表理事(左)と大霜MC(九州スタッフ株式会社)(右)

#### ☆MCの大霜彰子氏(九州スタッフ株式会社 取締役 経営企画戦略室 室長)からのコメント☆

日本ヒープ協議会は、生活者と企業をつなぐ場づくりを目的に立ち上げられた会で、来年で40周年を迎えます。

40年前は、毎年のように洗濯機だ、テレビだの白物家電の新製品がCMで流れ、生活がどんどん便利になっていく時代であったように思います。音楽もレコードからCDに移行し、大きなステレオからミニコンポの時代へ、そして、音楽を持ち歩けるウォークマンも大ヒットしました。アルバイトしてお金を貯めて、新製品を買う。それがシゴトの活力にもなっていました。

それが、20年前くらいからでしょうか、天神の街を歩いていると、ふと思ったんです。資本主義に生きるこの世の中って、どんどん消費しないと仕事も生まないし、仕事があるからお金も稼げるし、でもいつまで走り続けられるんだろうかと。

ヒープ協議会の取り組みの1つに、消費者教育という言葉があります。宮木さんは言います。持続可能な社会にしていくには、消費者が何を選ぶか、何を買うか、その意識を持つことが大切になってくると。今どきの若者と言われる世代は、買い物するときも慎重に商品を選ぶ傾向にあるとか。これも時代の風を感じ取っているということでしょうか。

ヒープ協議会の今年のテーマは「三位一体で描く消費環境デザイン 消費者・企業・行政が紡ぐ次世代の消費社会」。平成29年度消費者支援功労者表彰「内閣府特命担当大臣表彰」を受賞し、ますますパワーアップ。内閣府に企画が採択されて、12月には福岡でイベントも予定しています。宮木さんのお話、30分ではとてもとても足りませんでした。またご来福の際は、ぜひともコミ天に遊びにきてくださいね。

収録風景はこちら※最初の5分は早送りしてください。番組スタートとともに音声流れます※

<http://www.ustream.tv/search?q=%E3%82%B7%E3%82%B4%E3%83%88%E3%81%AE%E5%B9%B8%E7%A6%8F%E8%AB%96>